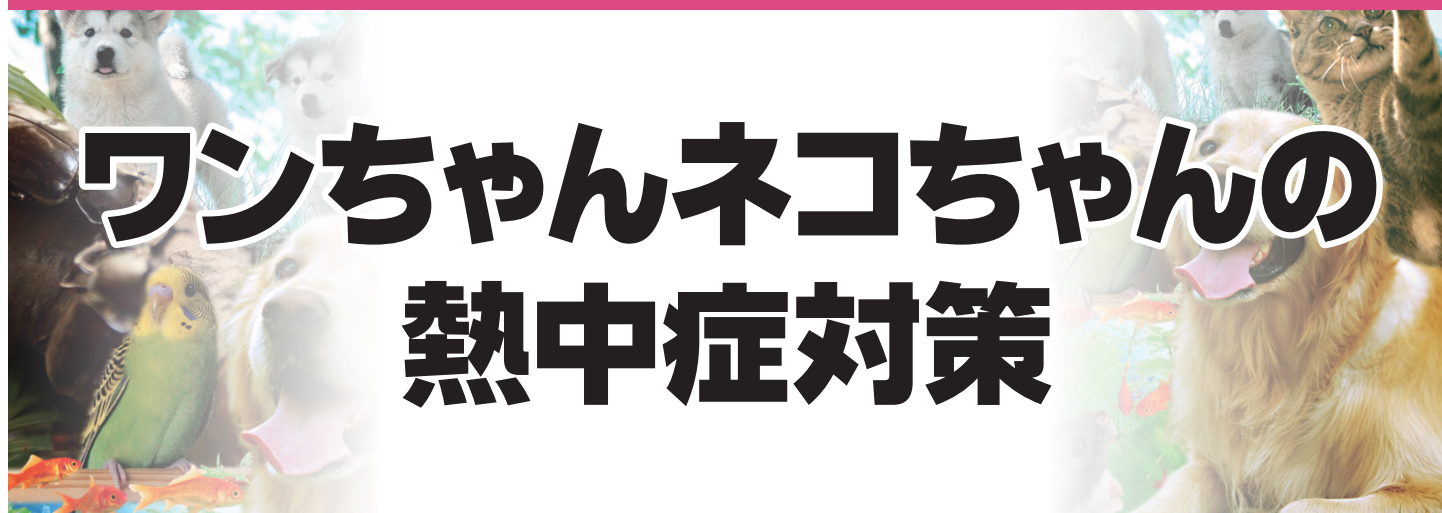
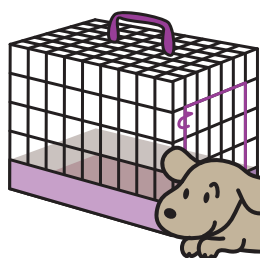




暑い夏場、ワンちゃんをお留守番させるときは、エアコンの設定や、ハウスの置き場所などを工夫して、できるだけ快適に過ごさせてあげましょう。室内犬も屋外犬も、涼しい環境づくりと飲み水を切らさないことが大切です。

室内犬の熱中症対策



ハウス

**日光が当たらない
部屋の隅っこが安心**

ハウスは直射日光が当たらない場所へ。ケージなど、扉がついたタイプのものなら、出入りが自由になれるよう、入口を開けておく方が安心。体が熱くなったら、ハウスの外に出て、床の上などで体を冷やすことができます。

開けておく方が安心。体が熱くなったら、ハウスの外に出て、床の上などで体を冷やすことができます。

飲み水

**いつでも好きなだけ
飲めるよう
多めに用意して**

犬がボウルに入れた水をけとばしてこぼすことも。そんな事態を考えて、飲み水のボウルをいくつか用意してあげると万全です。ゆっくり溶けるように大きな氷を用意してあげると、しばらく経っても冷たい水を飲むことができます。



エアコン

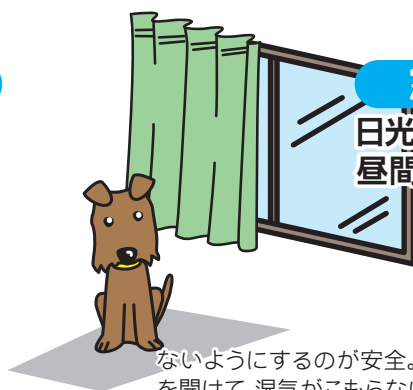
**ドライモードで
28℃以下を目安に!**

エアコンで室温調整ができると安心です。ただし、冷やし過ぎには要注意。除湿ができるドライモードにして、設定温度は25～28℃を目安にすると、犬も過ごしやすいでしょ。

クールマット

**犬自ら体を
冷やせる場所を!**

犬用冷却グッズのクールマットを部屋においておけば、いつでも体をクールダウンできます。クールマットに乗るのを嫌がる犬なら、上に布を敷いたり、マットの上でおやつを与えたりして慣れさせてから使いましょう。



窓

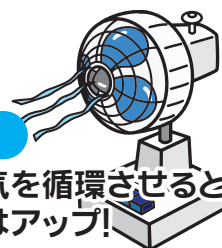
**日光が入らないよう
昼間もカーテンを**

日がカンカンに照っている日中の留守番時は、カーテンやブラインドなどを閉めて、直射日光が入り込まないようにするのが安全。帰宅後は、定期的に窓を開けて、湿気がこもらないように、部屋の換気をしましょう。

扇風機

**部屋の空気を循環させると
快適指数はアップ!**

扇風機を回して、部屋の空気を循環させるのも効果アリ。首振りにして弱風でつけるとよいでしょう。エアコンの効いた部屋で、扇風機の風が直接当たっていると、体が冷え過ぎることも。棚の上など、犬よりも高い位置に置くと安全。

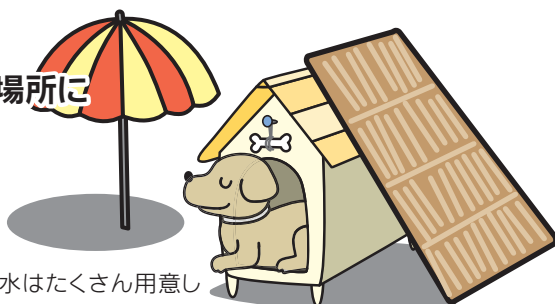


屋外犬の熱中症対策

犬舎

**日陰で風通しのよい場所に
置いてあげて**

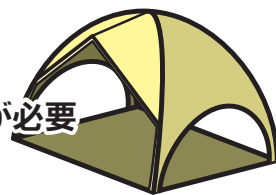
直射日光がなるべく当たらない、風通しのよい場所に置くのがベスト。犬舎の中にすのこを敷くと、風通しがよくなります。室内と同じく、飲み水はたくさん用意してあげましょう。



日除け

**犬舎のほかに
日陰になる場所が必要**

犬が自ら快適な場所を選べるよう、パラソルやよしずで犬舎以外に日陰をつくってあげましょう。犬が日陰に自由に移動できるよう、つないでおくりの長さを調整しておくといいでしょう。簡易テントなら、大型犬が入ってもスペースに余裕があります。



ネコちゃんの熱中症対策

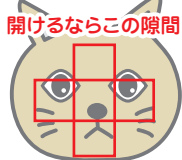
ネコちゃんは比較的暑さに強く、暑ければ自分から快適な場所へ移動します。しかし、ひと部屋に閉じ込められるなど、暑さから逃れる場所がなく、さらに水が飲めない状況が長時間続くと、熱中症や脱水の危険性が高まります。暑い時期にネコちゃんだけでお留守番させるときは、暑すぎない環境と十分な水を準備しておきましょう。

エアコン

- 温度設定** 人が物足りないと思うくらいの温度を目安に。ただ、肥満ぎみの猫は脂肪が放熱を妨げるため暑がる傾向にあるので、それよりも少し温度を下げてOK。
- 寒さ対策** 寒くなったら毛布など暖のとれる用意を。猫が寒くなったら暖かい場所に自由に行けるようにしてあげましょう。
- 事故防止** エアコンに前足が届く環境は要注意。好奇心でエアコンの中に前足を突っ込む可能性があり、モーター等でケガをすることも。猫がエアコンに届かない工夫を。

自由に行き来

- 脱走・事故防止** 帰宅時、玄関に猫がいると扉を開けた拍子に脱走の恐れが。まず片足だけ入れ、猫がいないか確認してから入りましょう。お風呂場は、溺れる危険があるので湯船の水を抜いておいて。また、バルコニーの行き来は、フェンスネットなどで完全に周囲を囲んでいれば問題ないですが、落下や脱走の可能性がすこしでもあるなら避けましょう。



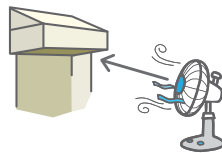
開けるならこの隙間
幅の目安は体重4kg前後の成猫なら3〜4cm以内。猫が隙間に顔をはめても、鼻が外に出るくらいまで。

窓を開ける

- 脱走防止** 窓開けは猫の顔が出ない隙間にして、それ以上開かないように防犯用の補助錠も付けて。ただ、補助錠があるとはいえ、防犯の点では、窓開けは短時間の留守のみにしておくで安心ですね。

扇風機

- 事故防止** 前足が突っ込めるタイプの扇風機は危険です。羽根を覆う部分が目の細かいタイプの扇風機を選んだり、専用カバーをつけるなどの対策を。
- ひと工夫** 日当たりの良い窓際には、首振り機能を使って、窓と部屋両方に風がいくよう扇風機の正面が窓と平行になるように扇風機を置いてみては。風で窓ガラスが冷やされ、また部屋の空気が循環するので、温度の上昇を防げます。
- ひと工夫** 換気扇との対角線上に置くと空気の流れができ、効率よく部屋の換気ができ温度の上昇を防ぎます。ポイントは、風が換気扇に届くように扇風機の首を一方に固定します。



クールマット

- これでもOK** クールマットの他に、タオルなどを巻いた人用保冷剤でも可。ただし、凍らせた人用保冷剤は、タオルなどを巻いても水滴がたれて、床などのカビの原因となることもあるので、ペットシートなど防水性のあるものを下に敷くのが◎。かじるなどのイタズラをしそうな猫には避けて。

カーテンを閉める

- これでもOK** カーテンを閉めて、日光が入らないようにするだけでも部屋の温度は上がりにくくなります。日差しや暑さを効果的にカットできる遮光カーテンだと理想的。ブラインドやすだれをかけてもOK。

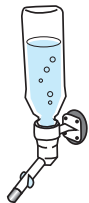
飲み水の容器を安定

安定感のある容器がベスト

比較的重みのある陶器製の容器や、底面に滑り止めのゴム加工がされている安定感のある容器がベスト。また、容器の下にゴム製マットなどを敷いても。

ケージなどに付ける給水器を選んで

給水器はこぼせないのが利点。初めて使う猫は、在宅時に飲むように誘導するとよいでしょう。また、水がたれることもあるので、受け皿などを置いて。



こぼした時のことも考えて複数置く

大きな容器1個にたくさんの水を入れても、こぼしては困ります。大きな容器でなくても、離れた場所に2〜3個の容器を置いておくと、1個こぼしてもそれ以外の容器で水を飲むことができます。

好みの水を用意

ネコちゃんが飲む水の好みを見極めて

猫によって水の好みがあるので、猫が好む水を飲めるようにしておきましょう。例えば、蛇口からの流水しか飲まない猫には、チョロチョロと出るよう蛇口を緩めておいたり、水を入れた水が好きな猫には、氷を入れてあげるなど、猫の好みの水に合わせて用意しましょう。また、一度沸騰させた、いわゆる湯冷ましの水はカルキが抜けて、猫によっては飲みやすくなることも。

腐らないように

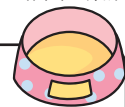
腐りにくい場所に置いたり、雑菌が繁殖しにくい素材を選んで

1泊未満の留守では、それほど水の腐敗を気にする必要はありませんが、直射日光が当たる高温の場所に置くと腐敗が進むので、涼しい場所に置いて。また、傷が付きにくく雑菌が繁殖しにくい傾向にある、陶器やステンレス、ガラスなど硬質の容器を選ぶのも手。

●それでも水を飲まない猫には…

オシッコの病気を考えて、留守がちになる時期だけ予防食を

飼い主さんが水を十分に用意しても、猫が必要量の水を飲まない、それが原因で尿石症などのオシッコの病気を引き起こす恐れがあります。そんな猫には、留守がちになる時期だけでも、病気を予防するフードをあげてもよいでしょう。予防食は、獣医師と相談して処方してもらいます。



禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ
ポイントも
貯まる!

Point
ポイント
カード
機能

クーポン

最新チラシ

店舗検索

アヤハディオ
ネットショッピング

アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

